

第2回 常任幹事会議事録

日時 19年4月19日(土)
午後2時～5時
場所 総合大東京能開大学校

議題議事録

(1) 実践教育研究大会の電気系での企画等

今期電気系運営委員である、能開大の中谷先生から「授業等の関係で引き受けるのが難しい状況である」とのメールを受けて電気系運営委員選出の会議を持ちました。

そこで、今期四国能開大の蔵本先生と同期である東北能開大の小玉先生を推挙することになりました。

1. 系の企画について

電子系企画については、ここ2年シンポジウムが続いていますので工場見学が出来る企業について、四国能開大の蔵本先生に打診しました。学生が就職している企業で、隆祥産業株式会社 (<http://www.ryusyo.co.jp/index.html>) との候補があるとのこととで電気系企画として進めたいと思います。

今後、蔵本先生の状況を聞きながら、系企画について日程や経費について埋めたいと思います。同時に系の懇親会等について相談します。

2. 宿泊関係

四国能開大の実行委員の進捗状況と丸亀地域のビジネスホテルの状況を系の考え決めて行きたいと思います。

ただし、遠隔地域から飛行機を利用した宿泊パックで参加される方もいると思いますので、東京大会と同様にホテル予約は個人で行う方向性も考える。

(2) 今年度の各分科会活動

1. 実装設計分科会の事業予定

- ① 幹事会 6月上旬 東京都内
- ② 関連展示会見学 6月上旬
- ③ 実践発表会での関連セッション開催と情報交換会

2. 組込分科会活の事業予定

現在、2008年度実践教育研究発表会に向けて、1つのテーマ(題材)に対してセッションを設けるべく5月中旬を目標に募集している状況です。

- ① USB Bit Whacker を用いた教材開発、卒業研究等の課題
- ② ZIGBEE モジュール(無線ネットワーク)を用いた教材開発、卒業研究等の課題

の2つのセッション(それぞれ3テーマ程度)が候補に挙がっています。

参加者には、それぞれ分科会から共通となる部品を現物にて5月末に支給を行う予定である。

(3) 出版事業について

1つの実験項目についてモデルの実験書を作成しご意見を伺いました。

22名の方にご回答を頂き、①テキストを採用する5名②採用しない9名③採用する

しないの回答なし 8 名（改善点のみの回答を頂いたもの）という結果でした。
コメントを見ると上手く趣旨が伝わらなかった旨も多く見受けられた。よって今後は、
頂いたご意見を参考に実験書を再編するとともに、指導用の指導書のモデルや付録資
料等も一通りそろえた上で、再度ご意見を伺って行く予定である。

（４）次期電気系幹事と事務局体制について

今年度は理事、幹事の改選年度になります。工藤理事（部会長）が定年で交代します。
また、電気系事務局が能開大東京校に変わります。工藤先生には、部会長として活躍し
ていただいた経験から、電気系特別顧問として今後もアドバイスをお願いします。

改選の基本的な考えとしては、これまでと同じ幹事は 2 期 4 年を目安としますが、電
気系実践を指導して行く人も必要と思います。また、ポリテクセンターの会員を増やす
体制づくりを進めるためポリテクセンターの会員から幹事を選出します。電気系分科会
活動を有効に行うための体制づくりの確立を行う。具体的には、各分科会事務局担当者
（今回は 2 名）を幹事としてお願いします。

これより、四国実践研究会に向けて次期電気系専門部会役員と担当部署の提案を行い
ました。参考資料で確認してください。

（５）その他

① 編集連絡委員について

今後の実践活動をさらに活発にするため、編集連絡委員も実践研究大会での発表を行
い、電気系幹事会に参加される場合には旅費の片道料金を電気系事務局で負担すること
なども考えて行きたい。

② これまで実践を指導してきた人たちの高齢化が進み、今後の事を考えて 30、40 代
の幹事を育てたい。